

令和6年度 調布市立第七中学校 指導計画・評価計画表 【2年生技術科】

観点 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価目標（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
C エネルギー変換 時間（1～18 4～10月	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気回路の基本的な構成と図記号がわかり、回路図の説明ができる。</li> <li>電気、熱の特性の原理・法則の仕組みについて理解できる。</li> <li>安心・適切な製作、実装、点検及び調整ができる。</li> <li>電気製品や屋内配線の安全な使用方法について考えることができる。</li> <li>身近な機器の適切な保守点検をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気やエネルギーに関する基本的な言葉を理解することができる。</li> <li>安全に製作ができる。</li> <li>電気回路の結果を評価することができる。</li> <li>電子回路の安全性を適切な保守点検の方法で点検することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート点検</li> <li>作品の点検</li> <li>定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材の工夫</li> <li>授業展開の工夫</li> <li>補習実習</li> <li>個別指導</li> </ul>
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を見出して課題を設定し、電子回路を構想することができる。</li> <li>製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。</li> <li>技術进行评估し、適切な選択をしようと、新たな発想に基づいて、改良と応用について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「電子回路進行表」に制作過程をまとめることができる。</li> <li>製作した電子回路を評価し、次の改善案等を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の取り組み</li> <li>ワークシートの点検</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材の工夫</li> <li>個別指導</li> <li>製作例の提示</li> </ul>
	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。</li> <li>生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解することができる。</li> <li>自らの問題解決とその過程を振り返り、改善しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メタ認知できるように振り返りができている。</li> <li>身の周りの電子機器とのかかわりについて考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の取り組み</li> <li>振り返りシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材の工夫</li> <li>補習実習</li> <li>個別指導</li> </ul>

指導単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価目標（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
D 情報 計測・制御 時間（19～35 11～3月	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピューターの構成や情報の量など情報の原理・原則について理解することができる。</li> <li>・構想したプログラムを説明することができる。</li> <li>・計測・制御システム等の原理・法則や情報モラルの必要性について理解することができる。</li> <li>・情報技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UMLの図を用いて、処理の流れを説明することができる。</li> <li>・計測・制御システムに関する基本的な言葉を理解することができる。</li> <li>・身近な計測・制御システムについて調べ、まとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート点検</li> <li>・作品の点検</li> <li>・定期試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の工夫</li> <li>・授業展開の工夫</li> <li>・補習実習</li> <li>・個別指導</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を見出して課題を設定し、プログラムを構想することができる。</li> <li>・製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。</li> <li>・技術を評価し、適切な選択をしようと、新たな発想に基づいて、改良と応用について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「プログラム進行表」に制作過程をまとめることができる。</li> <li>・制作したプログラムを評価し、次の改善案等を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の取り組み</li> <li>・ワークシートの点検</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の工夫</li> <li>・個別指導</li> <li>・製作例の提示</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解することができる。</li> <li>・自らの問題解決とその過程を振り返り、改善しようとしている。</li> <li>・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタ認知できるように振り返りができている。</li> <li>・身の周りの計測・制御システムとのかかわりについて考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の取り組み</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の工夫</li> <li>・補習実習</li> <li>・個別指導</li> </ul>